

01 鹿角地域文化財保存活用地域計画【秋田県】（鹿角市・小坂町）

【計画期間】 令和8～17年度（10年間）

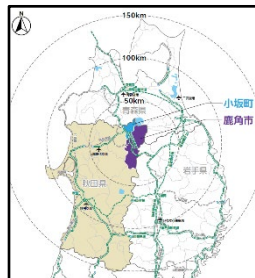
【面積】909.22km²（鹿角市707.52km²、小坂町201.70km²）

【人 口】約3.1万人（鹿角市約2.7万人、小坂町約4千人）

【関連制度】 世界文化遺産「北海道・北東北の縄文遺跡群」(R3年度)、ユネスコ無形文化遺産「大日堂舞楽」(H21年度)・「山・鉾・屋台行事」(H28年度)・「風流踊」(R4年度)、100年フード「こさかまちからーめん」(R5年度)・「鹿角ホルモン」(R6年度)



青垣の山々と花輪盆地



指定等文化財件数一覽

種 別		国指定・選定	国選択	県指定	市指定	町指定	国登録	合計	
有形文化財	建造物	2(0+2)	—	1(0+1)	2	1	10(4+6)	16	
	美術工芸品	絵画	0	—	0	4	0	0	4
		彫刻	0	—	3(3+0)	4	1	0	8
		工芸品	0	—	0	2	0	0	2
		書跡・典籍	0	—	0	0	0	0	0
		古文書	0	—	0	2	0	0	2
		考古資料	0	—	3(2+1)	6	2	0	11
	歴史資料	0	—	3(0+3)	2	3	0	8	
無形文化財		0	0	0	0	0	0	0	
民俗文化財	有形の民俗文化財	0	—	1(1+0)	10	0	0	11	
	無形の民俗文化財	3(3+0)	[2]	4(4+0)	14	2	0	23	
記念物	遺跡	1(1+0)	—	1(1+0)	1	3	0	6	
	名勝地	1(0+1)	—	0	0	0	0	1	
	動物・植物・地質 鉱物	13	—	3(1+1)	8	0	0	24	
文化的景観		0	—	—	—	—	—	0	
伝統的建造物群		0	—	—	—	—	—	0	
合 計		20(4+3)	[2]	19(12+6)	55	12	10(4+6)	116	

※国特別名勝及び天然記念物に指定されている「十和田湖および奥入瀬溪流」は国指定名勝地で計上。

※国及び県記念物のうち動物・植物・地質鉱物の動物には秋田県に生息する地域を定めないものも含む。

※()内の数字は前者が鹿角市所在文化財、後者が小坂町所在文化財の件数。

※記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財は国重要無形民俗文化財「大日堂舞楽」、「毛馬内の盆踊」が選択されているため、「」で表記。

※「0」は指定等の該当が無いもの、「-」は制度が無いもの。

歴史文化の特性 -青垣山をめぐらせる鹿角の里-

1. 山島 鹿角 -歴史文化を育む自然環境-

鹿角地域は四方を山並みに囲まれ、火山現象や多雪条件により形成された湖沼や温泉のほか、金属鉱床資源、森林資源など、山の幸、川の幸、地の幸に恵まれた自然環境を有し、人々の生活に密接に結びつく。

2. いにしえの里 鹿角 -自然に適応したくらし-

鹿角地域の人々は自然に適応しながら生活を営んだ。縄文時代から生活の痕跡が遺り、鉾山が開かれると山林や田畑から多くの恩恵を受け、生活文化に大きな影響を与えた。民謡や伝説・民話が多く伝わり、生活の様子や自然への畏怖の念を表現する。

3. 境のマチ 鹿角 -境目の地域の交通と交流-

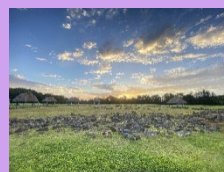
鹿角地域は自然資源に恵まれ、古くから西の羽州街道と東の奥州街道を結び付け、江戸時代は盛岡藩と秋田藩の境の位置となり交通の要衝だった。盛岡藩重臣の配置により花輪・毛馬内の町割りが整備され、人々の往来が盛んとなる商業の中心地として発展した。

4. 黄金ふく青垣山 -豊かな金属鉱床資源がもたらす鉱山文化-

古くから金属鉱床資源に恵まれた鹿角地域は、鹿角小唄に「北も南も黄金花」と唄われ、国内でも有数の金や銅の富鉱地帯だった。鉱山の発展により独自の芸能や食文化などが生まれ、現在まで続く。

5. 鹿角に息づく信仰と風流 -祈り・祭礼・伝統行事-

鹿角地域は古くから豊かな自然資源と東西交通の要衝であったことを背景に、京・大阪・江戸との往来があり、寒冷多雪の山里だが早くから文化が開けた。様々な信仰と季節ごとに多彩な民俗行事が行われ、人々の心の拠り所として現在にも受け継がれている。



大湯環狀列石



大日堂舞樂

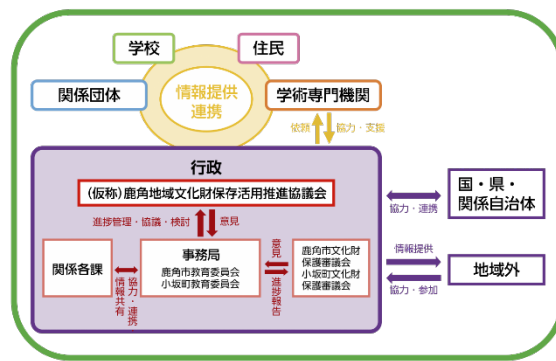


康樂館



芦名神社の絵馬

推進体制



指定等文化財は116件、未指定文化財は1,583件把握

文化財の保存・活用に関する将来像・基本方針・課題・方針・措置

将来像	基本方針	課 題	方 針	措置の例
青垣山の恵みに育まれた歴史文化に出会えるまち鹿角	みんなで地域を守り・活かし・磨き・未来へ伝える	基本方針1 保存	調査	○文化財の調査が必要 ○調査成果の整理が不十分
		保存管理	○調査の推進 ○調査成果の整理の推進	2 現状調査 現状調査を計画的に実施し、文化財の適切な保存管理につなげる。き損や滅失のおそれなどを考慮し計画的に行う。■市、町、住民、専門 ■R8～17
		防災・防犯	○情報管理が不十分 ○保存継承の支援が不十分	15 保存団体による無形の民俗文化財の後継者の確保・育成の取組み 無形の民俗文化財の保存団体が後継者の確保・育成のための講習会を開催する。 ■市、町、住民、関係団体 ■R8～17
	基本方針2 磨くつなぐ	磨く	○防災・防犯対策が不十分	64 防災・防犯マニュアルの整備【重点】 関係部局や消防機関、秋田県、文化財防災センターなどと連携し、様々な災害を想定した予防措置、災害等発生時の連絡体制や初動対応などのほか、文化財の防犯に関する内容を文化財の種類ごとにまとめたマニュアルの整備に取り組む。 ■市、町、関係団体、専門 ■R8～17
		つなぐ	○文化財の適切な価値づけが不十分 ○発信拠点の整備が不十分	29 デジタル化の推進【重点】 文化財や文化財に関する資料などをデジタル化することによって、保存管理へ活かし多様な活用へつなげる。また、デジタル化にともない公開基準を設ける。 ■市、町、関係団体、専門 ■R8～17
		伝える	○人材育成が必要 ○仕組みづくりが必要	41 地域行事への参加の促進 児童生徒が地域で行われる祭典などへ参加する取組みを継続する。 ■住民、学校、関係団体 ■R8～17
	基本方針3 活用	広める	○情報発信が不十分	51 デジタルアーカイブの推進【重点】 デジタルコンテンツに公開基準を設け、文化財や文化財に関する資料などのデジタルアーカイブなど多様な情報発信を行う。 ■市、町、関係団体 ■R8～17
		活用	○文化財に触れる機会が不十分 ○文化財を活かす取組が不十分	52 郷土学習の充実 学校教育の郷土学習などで郷土の自然や人、社会、伝統文化、産業などに触れ、地域の歴史文化を学ぶ機会を充実させ、文化財を活用した取組みを継続する。 ■市、町、住民、学校、関係団体 ■R8～17

歴史文化の特性と関連文化財群の関係性

青垣山をめぐる 鹿角の里		関連文化財群				
		1. 山と川が 織りなす 人々の暮らし	2. 菅江真澄が みた風景	3. 黄金花咲く 鹿角	4. 小さな集落の 祭り行事	5. 伝統と挑戦が 魅了する 鹿角の祭礼・芸能
歴史文化の 特性	山島 鹿角	◎	○	○	○	○
	いにしへの里 鹿角	○	◎		○	
	境のマチ 鹿角		○	○		○
	黄金ふく青垣山	○		◎		○
	鹿角に息づく 信仰と風流		○	○	◎	◎

※「◎」はメインとなる構成要素、「○」は関連する構成要素

1. 山と川が織りなす人々の暮らし

鹿角地域は四方を山並みに囲まれ、米代川とその支流が流れる田園風景が広がる盆地に位置する。古くから豊かな自然と共生し、民謡や伝説・民話、絵画を生んだ。鹿角地域の人々の豊かな生活の様子を現在に伝える。



大湯環状列石



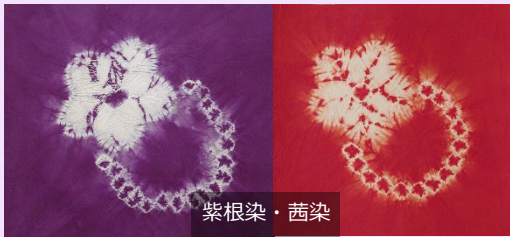
大湯温泉郷

2. 菅江真澄がみた風景

菅江真澄は鹿角地域の旅日記や随筆を遺した。滝、だんぶり長者物語、紫根染・茜染は、菅江真澄に強く印象を与えた。この鹿角地域の自然、歴史、伝説・民話といった風土は現在も残されている。



錦木塚



紫根染・茜染

3. 黄金花咲く鹿角

鹿角地域は金属鉱床資源が豊富で、鉱山が栄えた。小坂鉱山、尾去沢鉱山は、江戸時代から現代までの鉱山の繁栄と人々の自然への畏怖の心を示す文化財が残される。



旧小坂鉱山事務所



大森親山獅子大権現舞

4. 小さな集落の祭り行事

鹿角地域は、豊かな自然環境や他地域との交流によって多様な文化が育まれた。集落ごとに、文物が受け継がれ、現在でも寺社の例祭や季節に応じた行事、石造物などが守り継がれている。



下花輪の虫送り



庚申塔

5. 伝統と挑戦が魅了する鹿角の祭礼・芸能

鹿角地域には多様な祭り・行事が伝わる。そのなかには、地区全体や複数の集落が一体となった祭礼と芸能が行われ、一部は現代になり観光的要素を持ち、鹿角地域の文化が受け継がれている。



花輪ねふた



月山神社祭礼

【関連文化財群】 4. 小さな集落の祭りと行事

テーマ 鹿角地域は自然の織りなす四季の移り変わりが美しい。人々は季節の変わり目を感じ取って来た。また古くから鉱山が栄え、京・大坂・江戸との往来が多く、寒冷多雪の山里であるにも関わらず早くから文化が開け、地域で生まれた文化も多様である。農作物の成長や豊作を祈るなど、暮らしの節目節目で民俗行事・祭りが行われ、踊りの民俗芸能、馬産の地であることに由来する馬の神の信仰が根付いた。

集落内で継承されてきた行事や祭り、信仰は、人口減少が進むなかで、現在も時代に合わせて変化しながら続けられている。集落の無病息災や発展を祈願する行事、集落の地形や環境に適応した行事がある。また、集落に伝承される盆踊や虫送り、雨乞いといった行事は、過去に起こった災害の記憶を現在に伝え、形を変えながら行われている。行事・祭りには大太鼓が用いられることが多い。

寺社には、行事・祭りのほか、絵馬や仏像、樹木などが伝わる。集落の無病息災や発展を祈り、神仏を祀ったものには、石造物があり、集落の人々によって供養塔や庚申塔などが建立された。地域内には石造物は300基余りあり、寺社の境内や路傍、街道脇などでよく目することができる。現在でも山の神や男神女神といった神仏は人々から親しまれ信仰を集めている。

構成文化財



濁川の虫送り



百万遍



湯瀬神社先祓舞

関連文化財群に関する課題

- 人口減少により、集落単位での開催が困難になっており、体制づくりが必要である。
- 無形の民俗文化財に関する情報発信が鹿角市のホームページやSNSが主であり、不十分である。

関連文化財群に関する方針

- 集落で無形の民俗文化財を継承できる体制の確立を図る。
- 無形の民俗文化財に関する情報発信や、情報発信のための場を作る。「小さな集落の祭りと行事」に関連する文化財を関係団体と連携し、テーマとともに分かりやすく伝えるための講座やイベントを開催し、普及啓発を図る。

関連文化財群に関する主な措置

4-4 指定の無形の民俗文化財の保存団体の支援

指定の無形の民俗文化財の保存団体が行う継承活動にかかる費用に対し財政支援を行う。また、後継者の確保・育成活動の支援として、鹿角市民俗芸能フェスティバルの開催を継続するとともに、情報交換会を拡充する。また、記録作成・デジタル化も行う。

■市、町、住民、関係団体、専門 ■R8～17

4-8 情報発信の強化

ホームページやパンフレットの内容を更新し、情報発信を図る。

■市、町、関係団体 ■R8～17

参考

鹿角市指定等文化財件数一覧

類型		国指定・選定	国選択	県指定	市指定	国登録	合計
有形文化財	建造物	0	－	0	2	4	6
	美術工芸品	絵画	0	－	0	4	4
		彫刻	0	－	3	4	7
		工芸品	0	－	0	2	2
		書跡・典籍	0	－	0	0	0
		古文書	0	－	0	2	2
		考古資料	0	－	2	6	8
		歴史資料	0	－	0	2	2
	無形文化財	0	0	0	0	0	0
民俗文化財	有形の民俗文化財	0	－	1	10	0	11
	無形の民俗文化財	3	(2)	4	14	0	21
記念物	遺跡	1	－	1	1	0	3
	名勝地	0	－	0	0	0	0
	動物・植物・地質鉱物	13(13)	－	2(1)	8	0	23(14)
文化的景観		0	－	－	－	－	0
伝統的建造物群		0	－	－	－	－	0
合計		17(13)	(2)	13(1)	55	4	89(14)

※記念物の動物・植物・地質鉱物の動物には秋田県に生息する地域を定めないものを含み()で表記し、件数に含む。
※記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財は国無形民俗文化財「大日堂舞楽」、「毛馬内の盆踊」が選定されているため、()で表記し、件数には含まない。
※「0」は指定等の該当が無いもの、「－」は制度が無いもの。

小坂町指定等文化財件数一覧

類型		国指定・選定	国選択	県指定	町指定	国登録	合計
有形文化財	建造物	2	－	1	1	6	10
	美術工芸品	絵画	0	－	0	0	0
		彫刻	0	－	0	1	1
		工芸品	0	－	0	0	0
		書跡・典籍	0	－	0	0	0
		古文書	0	－	0	0	0
		考古資料	0	－	1	2	3
		歴史資料	0	－	3	3	6
	無形文化財	0	0	0	0	0	0
民俗文化財	有形の民俗文化財	0	－	0	0	0	0
	無形の民俗文化財	0	0	0	2	0	2
記念物	遺跡	0	－	0	3	0	3
	名勝地	1	－	0	0	0	1
	動物・植物・地質鉱物	13(13)	－	2(1)	0	0	15(14)
文化的景観		0	－	－	－	－	0
伝統的建造物群		0	－	－	－	－	0
合計		16(13)	0	7(1)	12	6	41(14)

※国特別名勝及び天然記念物に指定されている「十和田湖及び奥入瀬渓流」は国指定名勝地に含む。
※記念物の動物・植物・地質鉱物の動物には秋田県に生息する地域を定めないものを含み()で表記し、件数に含む。
※「0」は指定等の該当が無いもの、「－」は制度が無いもの。